

代表質問項目

平成29年3月2日
大阪維新の会 井戸正利

○ 前 文

1 新たな大都市制度について

大都市制度改革の必要性について、市長の認識は。

2 府市連携について

(1) AB項目以外の事務事業の取組みについて

副首都推進本部会議で速報値として報告された1月末時点の取組状況結果を踏まえ、今後の進め方について、市長の所見は。

(2) 「副知事・副市長会議」について

「副知事・副市長会議」で今後どのように進めていくのか、副座長である中尾副市長の所見は。

3 今後の業務改革の推進について

市政のムダの排除について各所属の自律性に任せていて本当にできるのか。強力な権限を持った市長直轄の「実行部隊」があるべきと思うが、市長の所見は。

4 施策の見える化について

(1) 市民利用施設について

市民利用施設にかかる費用の「見える化」が必要と考えるが、市長の所見は。

(2) 国民健康保険事業に対する一般会計からの繰入について

市民の認識・理解を深めていく必要があると考えるが、市長の所見は。

5 職員再就職の適正管理について

再就職手続きの透明性を更に向上させる必要があると考えるが、市長の所見は。

6 教職員の市費負担への移行に伴う教員の相対評価について

評価についてはこれまで以上に厳正化すべきと考えるが、教育長の所見は。

7 学校評価について

学校運営に関する計画による学校評価及び学校協議会による関係者評価の成果や課題、検討されている学校評価の改善が目指しているものは何か、教育長の所見は。

8 権限移譲に伴う新たな教職員の人事給与制度改革について

がんばっている教員が報われる制度にすべきであり、優秀な教員を幅広く集めるため、給与制度改革についてどのように取り組んでいくのか、市長の所見は。

9 待機児童対策について

マンションへの保育所設置を実効性のあるものとするため、どのような制度構築を考えているか。また、市役所本庁舎、区役所庁舎の小規模保育事業所開設に向け、どのように進めていくか、市長の所見は。

10 介護保険事業の分析について

本市の介護認定率が高い状況や区によって大きな差があることをふまえ、要介護認定者の生活状況や給付状況を各区と関係局で分析すべきと思うが、市長の所見は。

11 路上喫煙対策について

シンボリックな地域を新たに路上喫煙の禁止地区として指定し、大阪のイメージアップを図る必要があると考えるが、市長の所見は。

12 大阪の成長戦略の実行について

(1) 中之島4丁目地区のまちづくりについて
再生医療国際拠点構想の実現に向けた今後の進め方について、市長の所見は。

(2) 御堂筋完成80周年記念事業について
御堂筋の活性化に向けた取組みをどのように進めていくのか、市長の意気込みは。

(3) 大阪港開港150周年記念事業について
将来の活性化につながるものにしていくべきと思うが、市長の所見は。

13 淀川左岸線（2期・延伸部）について

淀川左岸線2期や延伸部の整備に対する市長の所見は。

14 IoT等を活用した介護関連ビジネスの創出について

IoTなどを活用した介護関連製品などの開発を支援する仕掛けづくりについて、市長の所見は。

15 博物館施設の地方独立行政法人化について

独立行政法人化することの意義や設立の時期及び法人化に向けての市長の決意は。

16 区の特徴ある施策の展開について

(1) あいりん地域のまちづくりについて
どのように「あいりん総合センター」をめぐる課題に取り組み、活性化に向けたまちづくりを行うのか、市長の所見は。

(2) もと淀川区役所用地の有効活用について
土地のポテンシャルを最大限に引き出すような開発を進めるべきだと思えるが、市長の所見は。

○ 結 文